

学校法人 入舟幼稚舎 設立趣意書

入舟幼稚園は、1951年、飯田入舟教会牧師福澤友男が、地域住民、教会員の要望を受け、無認可幼稚園として始まりました。1956年には宗教法人飯田入舟教会附属入舟幼稚園として、認可されました。1984年に、学校法人信濃キリスト教学園を入舟幼稚園、小諸幼稚園、松代幼稚園の3園で設立し認可され、1996年に大町幼稚園が加入し4園となりました。

2008年に入舟認定こども園の認可を受け、入舟保育園を設立、2011年に飯田市高羽町から、飯田市宮ノ上へ移転、園舎を新築し、2015年、幼保連携型認定こども園入舟幼稚園入舟保育園として認可され現在に至っています。設立当初、6名園児を迎え入れた後、2,200余名の卒園児を送り出しています。

長年、学校法人信濃キリスト教学園の一員として、他の3園と共に幼児教育に尽力してきましたが、他の園との距離が離れているという地域的な問題が、運営に影響することがありました。そのため、信濃キリスト教学園から脱退し、更なる、乳児保育、幼児教育の充実、地域社会への貢献のために、単独の園として、新たに学校法人入舟幼稚舎を設立することを決めました。

入舟幼稚園入舟保育園では、神を愛し、自分を愛し、隣人を愛し、自然を愛するように育ててほしいと願い、キリスト教保育を行っており、自然の中での体験、人々との交わり、動植物のとの関わり等を通し、発見、驚き、喜びの園生活が送れるように援助しています。子どもたちが、初めて出会う学校としての幼稚園教育の重大さを認識し、楽しく伸びやかな園生活、子どもにとって真実な幸せを願い続ける園でありたいと思っております。

又、自分で考え、自ら進んで行動できる主体的・創造的な子ども、他者と一緒に生活することを楽しみ、お互いの違いを認め、自分らしさを大切にす協力、協同する子どもとしての成長を願い、そのために一人の幼児を複数の教諭が多面的に見取ることのできるように、1クラス2人担任制で保育を行っています。チーム保育を行うことにより、子ども一人一人への理解の幅を広げ、新たな子どもの姿、内面を発見し、きめ細かな指導を行い、更に、子どもたちの成長に役立っていると思っております。

環境面では、敷地内に、様々な種類の木々を植栽した里山、畑があり、自然にふれ合いながら遊び、子どもたちが自分たちで、畑で野菜を育てることができます。又、園庭を芝生化していることにより、子どもたちが運動しやすく、心と体の健康、遊びの発展にもつながり、園生活を豊かにすることができます。

1951年の設立以来、多くの卒園児を送り出し、地域の方々、保護者の方々と共に、幼稚園、保育園、認定こども園を運営してきました。今後も、地域社会に貢献し、未来を担う子どもたちの健やか成長のために、乳児保育、幼児教育、子育て支援を行っていきたいと願っています。